

イ アンケート調査による考察

著作権について理解ができたかどうかを調べる目的で、検証授業の前（10月）と検証授業後（11月）に高校2年生31名を対象にアンケート調査を実施しました。

① 書籍・問題集のコピーについて

授業前は、著作物（問題集）のコピーを「したことがある」と答えた生徒が58.1%いました。授業後は、93.6%の生徒が「やってはいけない」、「モラル違反」と考えるようになりました（図1）。授業において、全ての創作物には著作権があり、個人利用目的の場合、最低限の複製は法的に問題がない場合もありますが、問題集のコピーは出版社の利益が損なわれる可能性があり、個人的な利用であっても違法行為であるということを学んだ結果が表れていると考えます。

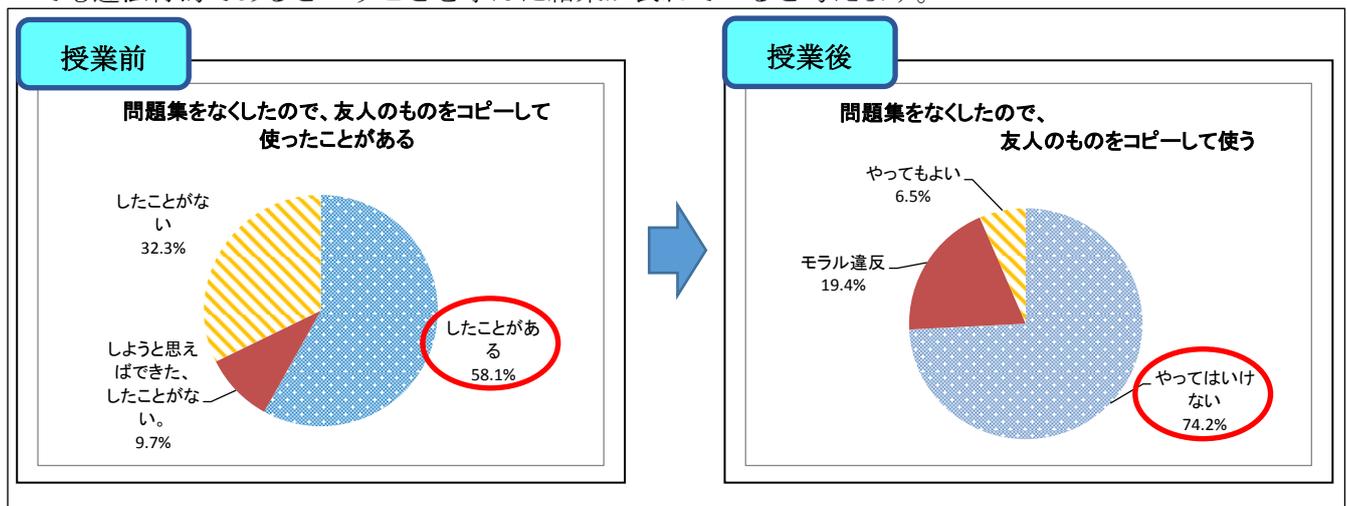


図1 書籍・問題集のコピーについて

② インターネット上の画像の取り扱いについて

本学級では、全員がネット上の画像をコピーするスキルを持っています。授業前は87.1%の生徒がコピーして利用したことがある状況でした。授業後は、他者の創作物をコピーすることに対しては、「やってはいけない」、「モラル違反」と考える生徒が87.1%となったことから、インターネット上の著作物の利用に関し理解ができたと考えます。「やってもよい」と答えた12.9%の生徒についてはインターネット上の著作物は、個人利用目的であれば問題がない場合もあり、今後どういった場合に違法とみなされるのかを例示して指導する必要があると考えます（図2）。

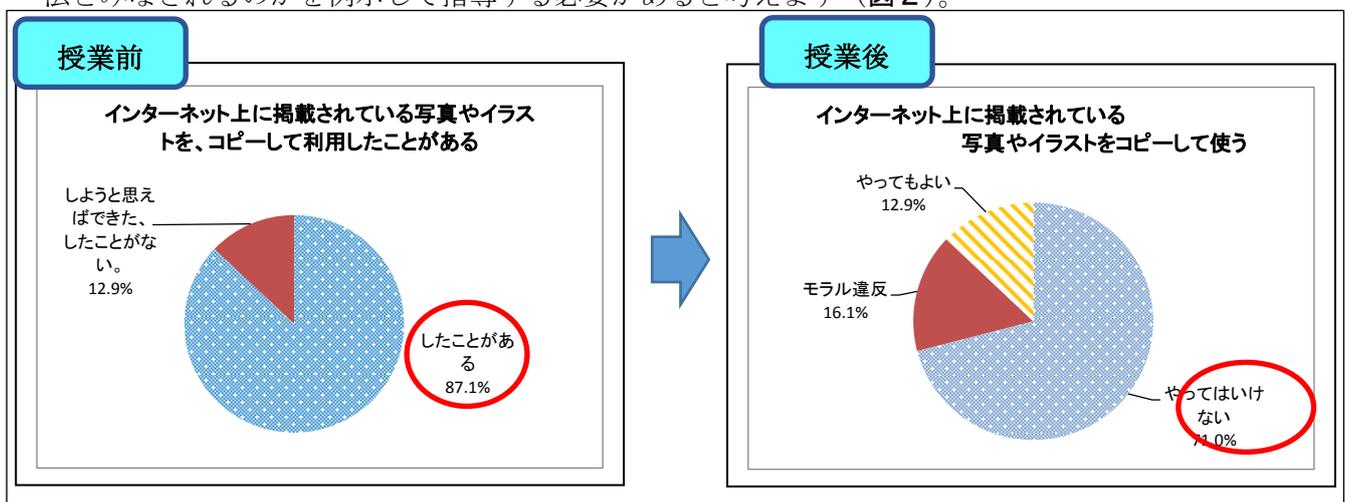


図2 インターネット上の画像の取り扱いについて

③ 音楽の取り扱いについて

授業前は、48.4%の生徒がCDやDVDをコピーしたことがあるという状況でした。授業後は、他者が所有する音源をコピーする行為に対して否定的な生徒が90.3%でした。このことから著作権について理解が深まったと考えます。また、授業後は、個人的な利用目的での自己所有のCDのコピーは著作権法上問題がないことも77.4%の生徒は理解していました。このことから、著作物の利用に関して理解が深まっていると考えられます。しかし、12.9%の生徒は、複製は全て問題であるという誤った理解をしていると考えられます。また、9.7%の生徒は、モラル違反だと捉えていることも分かりました（図3）。今後、個人使用目的での最低限の複製は許されていることを周知させる必要があると考えます。

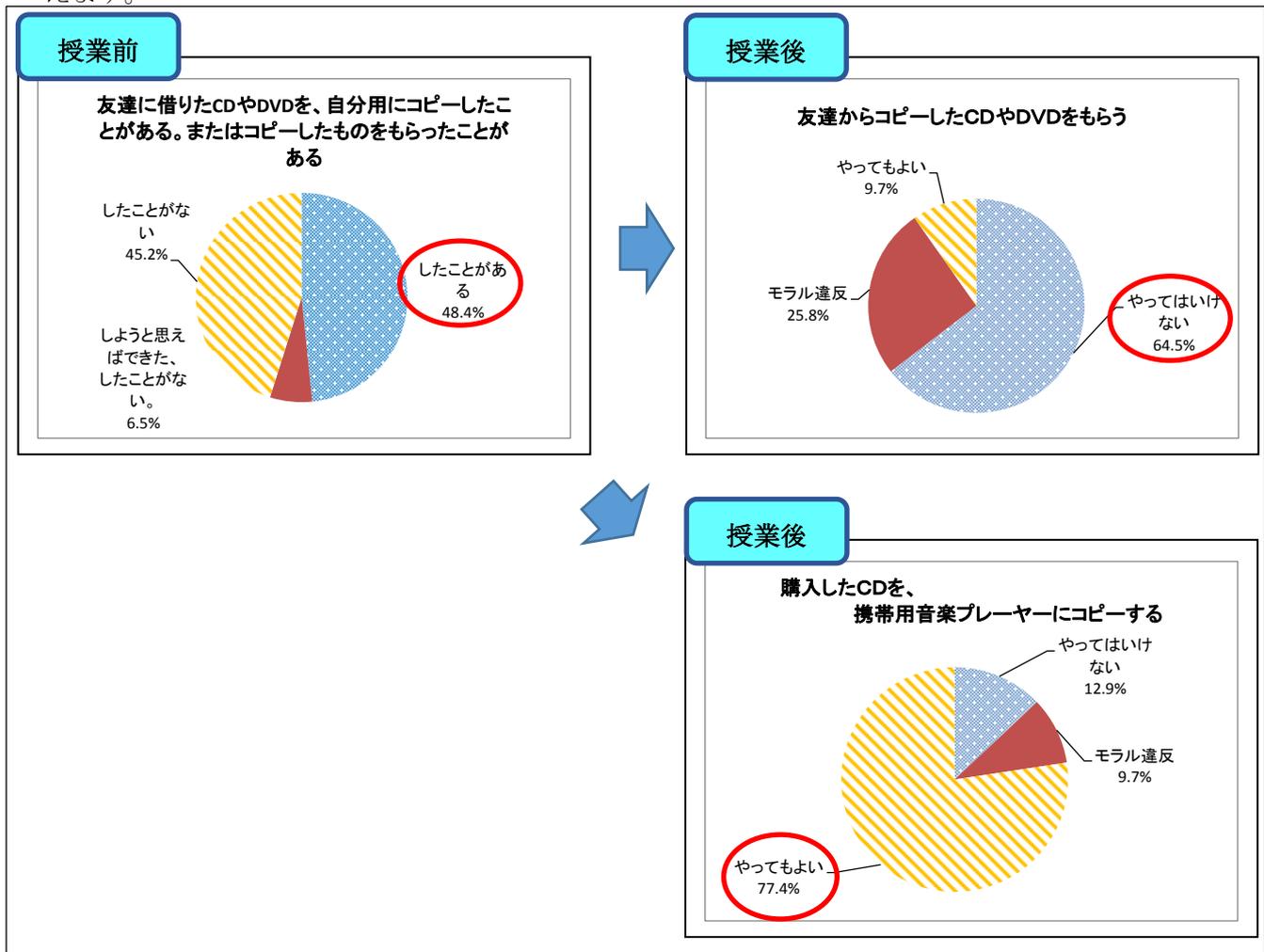


図3 音楽の取り扱いについて

④ 無料の音楽・動画サイトの利用について

授業前のアンケート調査から、90%以上の生徒がネット上の音楽や動画をダウンロードするスキルをもっていることが分かりました。また、80.6%の生徒が無料の音楽・動画サイトから音楽や動画をダウンロードしたことがある状況でした。

授業後は、「利用規約違反と知りながら、動画サイトから動画をダウンロードすること」について質問しました。その結果、全ての生徒が「やってはいけない」と「利用規約違反（モラル違反）」と捉えることができていました。中でも80.6%の生徒が、ダウンロードすることが法的に問題となるわけではなく、モラルに反する行為であることを理解していることが分かりました（次頁図4）。

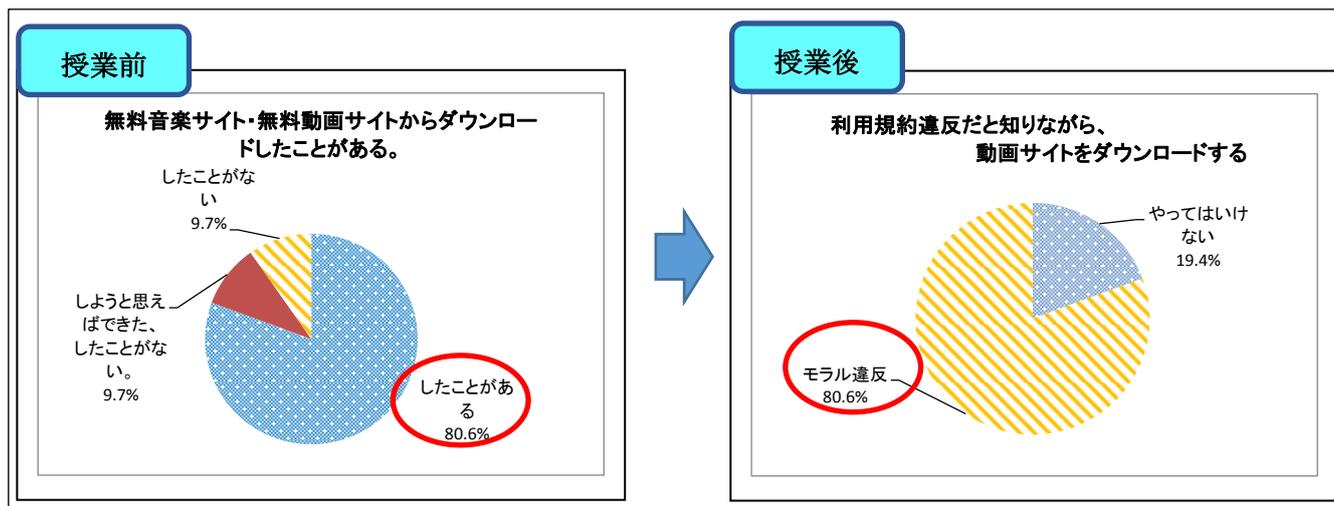


図 4 無料の音楽・動画サイトの利用について

